|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 第1回 | 打合せ記録簿 | | |
| 事務所名 | 公益財団法人東京都公園協会 | 受託者 | 株式会社プレック研究所 |
| 委託件名 | 2024年度六義園剡溪流護岸補修工事  事前調査委託 | 契約番号 | 2024東公協契　第01830号 |
| 場所 | 六義園 |
| 日時 | 令和7年（2025）1月31日（金）  10：00～12：00 | 打合せ方式 | 会議・現地・Web・電話 |
| 出席者 | 委託者 | 受託者 | |
| 伊藤係長（以下、公園協会） | 廣瀬、銅（以下、プレック） | |
| １．議題  ・業務内容の確認  ・本業務に係る確認事項  ・スケジュール  ２．配布資料  ・打合せ次第  ・業務計画書(案)  ３．打合せ内容  （１）業務内容の確認  打合せ次第と業務計画書(案)を用いて、業務内容の確認を行った。  ①調査の対象範囲  ・本業務の対象範囲は、白鷗橋南東側の護岸構造物が不明な区間（白鷗橋から約50ｍ程度、補修済の乱杭護岸まで）及び、白鷗橋から山陰橋・藤波橋を経て渡月橋付近に至る両護岸であることを、現地にて公園協会と確認した。  ②調査内容について  ・調査内容は、1護岸構造と2損傷状況の2項目に分類する。  ・1護岸構造は、仕様書には記載されていないが、調査・検討の基礎データとして整理する。  ・2損傷状況は、空洞部の奥行きと高さ、木杭の腐朽とぐらつきの2項目に分類する。 空洞部については、検尺を用いて調査し、蛇籠の設置を考慮して奥行きと高さが30㎝以下と30㎝以上の2項目に分類して整理する（30㎝以上の範囲は、最大値を計測）。 木杭については、目視と打診にて調査し、木杭の再利用の可能性を確認することを目的に、池泉の通常時の水面以下の箇所の腐朽の有無、ぐらつきの有無の2項目に分類して整理する。  ③成果品について  ・調査報告書2部の他に、電子データ2部を追加する。  ・成果品の構成については、第1章調査計画、第2章調査結果の2段階構成とする。 第1章調査計画は、業務計画を活用することとし、第2章調査結果は、各調査の結果を平面図上に示したものを成果として整理する。 | | | |

|  |
| --- |
| ④調査時の留意事項  ・調査の実施にあたっては、公園協会がセンターへ連絡し調整を行う。  ・調査時には、関係者であることが分かるように、腕章やビブス、ヘルメットを着用する。  ・調査の開始時や終了時、一時的に外へ出る際は、必ずセンターへ声をかける。  （２）スケジュール  ・現地調査は、2月7日（金）と2月10日（月）の2日間を予定する。  ・降雨等で調査が実施できない場合は、12～14日の期間に変更する。  （３）その他  ・保存活用計画や令和5年度の実施設計で使用している平成11年（1999）の測量データを公園協会より提供していただく。  ・業務計画書については、今回の打合せ内容（成果品の内容、六義園サービスセンターの窓口等）を踏まえて修正を行い、鑑を付けて後日公園協会に提出する。  以上 |